



因島から望む弓削島
日立造船株式会社『八十周年を迎えて』昭和36年 から

ふるさと 上島学への招待 ⑫



上島町教育委員会
有馬 啓介

造船業と海運

瀬戸内海は、古くから海上交通の大動脈としての役割を担ってきました。中世の弓削島荘の生産物の運搬記録からも活発な海運の様子が分かります。

文安2年(1445年)から翌年1月までの1年余りの間に兵庫北関(現在の神戸市)を通過した主要な船舶の積荷に対する関料等を詳細に記載した台帳である『兵庫北関入船納帳』には、弓削籍の26隻が記録に残されています。その26隻の積載品目及び積載量(総量)を見ると、備後3,513石、マメ20石、赤イワシ180石で、95パーセント近くを備後が占めています。備後とは、備後塩を指すと考えられています。弓削島周辺の岩城島、伯方島、生口島、因島から兵庫北関に入関した船舶の積載品目の多くに備後の文字が見られます。弓削島荘をはじめとした島々で生産された塩は、瀬戸内海での海上輸送

によって、畿内に送られていたのです。

一方、瀬戸内海航路は、造船業の発展にも重要な意味をもっていました。かつて、瀬戸内海各地には、潮待ち、風待ちの港が数多くありました。江戸時代の航路は、造船技術の発達により本州の陸地沿いを航行する「地乗り航路」から瀬戸内海の中央を航行する「沖乗り航路」へと移行していきました。「島本陣」や多くの船舶の入港で栄えた岩城港はその好例です。このような港では、船舶の修繕が行われました。その技術は、やがては新造船の建造の下地となり、現在の造船業の発展に大きく貢献しています。

第2次世界大戦後、空爆の被害が比較的軽微であった瀬戸内海沿岸の造船業は、復興の原動力ともなりました。現在でも多くの造船マンがこの地域で活躍しています。

人生初のロングライドに挑戦

早いもので上島町に来て半年が経ち、初めての春を迎えようとしています。島内を散策していると、思っていた以上に桜の木が多く植わっていることに気づき、桜の季節を心待ちにしていました。今月は桜を見に初めて積善山にも登ります。四季を感じながら自然の中で心地よい運動ができる、これも上島町の大きな魅力だと感じています。

そんな自然や景色を満喫する一つの手段としてサイクリングがあります。私は1年半前に約8年間乗り続けたマウンテンバイクが故障し、周りにロードバイクを乗っている人が多かったことに影響され、一念発起して今のロードバイクを購入しました。その後、近距離のライドしか経験がありません

でしたが、上島サイクリングチームでお世話になることになり、今年人生初めてのロングライドに挑戦しました。経験豊富で優しい皆さんに助けられながら、どうにか完走しましたが、道中についていくのに必死で景色を楽しむ余裕はまったくなし。これからはもっときちんとサイクリングが楽しめるよう練習に励みたいと思っています。

その他、最近の活動としては、ふるさと学習の海苔加工場見学やB&G活動の同行、魚島での行事参加、ゆめしま海道いきなマラソンの運営参加等がありました。これからも上島町民として様々な行事にどんどん積極的に参加していく予定ですのでよろしくお願いいたします。



島おこし 協力隊 活動報告



島おこし協力隊
大西 美穂



弓削高等学校

<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>


第35回全国高校生読書体験記コンクールで入選

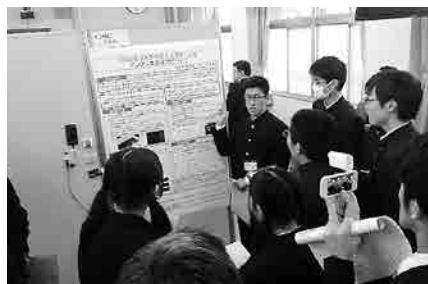


第35回全国高校生読書体験記コンクールで浪切奈々さんが入選

第35回全国高校生読書体験記コンクールで、2年生の浪切奈々さんが入選しました。浪切さんは『銀二貫』という小説を読み、体験記を書きました。「この本を読んで、人に優しさのバトンを繋いでいくことが一番の恩返しだと感じました。」と話していました。

「えひめサイエンスチャレンジ2015」に参加、時本真弥さんが奨励賞を受賞

平成28年1月30日(土)、愛媛大学で行われました「えひめサイエンスチャレンジ2015」で、2年生の時本真弥さんが「RGB比色法と自作吸光光度計によるデンプン濃度判定」について研究ポスター発表を行い、奨励賞を受賞しました。今後も研究を継続する予定です。



平成27年度耐久レースを実施、全員完走!!

平成28年2月10日(水)に耐久レースが行われました。男子は2年生の中田燦允さんが歴代6位のタイムで1位でした。女子は1年生の松浦華さんが1位でした。

沿道でたくさんの方から応援をいただきました。おかげさまで、全員完走することができました。ありがとうございました!!



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>


特殊詐欺被害防止の広報活動に参加

一日警察署長として
詐欺被害防止を呼び掛ける

平成28年2月5日(金)、弓削商船学生会役員の秋山公嘉さん、入江史城さん、荻田優海さんの3名が、伯方警察署主催の「船舶利用者に対する特殊詐欺被害防止の広報活動」に一日警察署長として従事しました。

当日は生名立石港務所で開始式が行われ、上島町長、伯方警察署長の挨拶後、学生会役員3名に一日警察署長の任命が行われました。これを受けて代表の秋山さんが「上島町内の方が特殊詐欺の被害に遭わないように呼び掛けていきます。」と宣誓しました。



その後、フェリー利用者へチラシを手渡し、「詐欺が増えているので気を付けてください。」と注意を呼び掛けたほか、伯方署の警備艇に乗船し、マイクを利用した広報活動等を行いました。

弓削商船高等専門学校

紹介ビデオ公開しています

このたび本校の紹介ビデオを制作し、ホームページに掲載し

ました。

美しい弓削島の景色を、ドローンを用いて撮影した「学校周辺上空」や学生が生活している「白砂寮」の映像を公開しています。

▼ビデオ映像はこちらから

<http://www.yuge.ac.jp/movie>



今後は、練習船「弓削丸」のビデオも公開する予定ですので、是非ご覧ください。